



# 三木高大 自治会新聞

令和5年12月号 (No. 182)

発行 三木市高齢者大学学生自治会  
発行責任者 自治会会長 廣田 脩  
編集者 自治会新聞編集委員会  
発行日 2023年(令和5)12月14日

<http://koureisyaigaigaku.cccp.jp>

## 第32回大学祭のご案内

### 大学祭で「1人1人が思い出に残る体験を！！」

今年の第32回大学祭は、三木市高齢者大学創立40周年の節目の大学祭であり歴史の重みを感じる次第です。

大学祭が、自治会の行事から一人立ちをし、クラブの自主的な行事になって二年目で、実行委員会は主なクラブから選抜された現役学生12人で構成されています。

主な役割は大学祭の各準備役割担当部門と各クラブとの仲介です。

この記念になる祭りをどう盛り上げるか？選抜された現役学生で、2つのことを行いました。

- ① 入学1, 2年生対象のクラブに関するアンケート調査
- ② 昨年度の大学祭の反省、改善点の抽出

これらの結果を念頭に、実行委員会を結成し9月から活動を開始し、11月中に祭りの準備役割担当の骨組みを作成いたしました。



いよいよ、12月からは、実務面を細部に渡って詰めていくところで、24部のクラブ長にも全員集合してもらい、続いて大学祭の準備の役割を担っていただく学生の皆様にもご協力を仰ぎ準備を進めているところです。

一方各クラブにおきましても、大学祭の主役は、クラブの発表会であり作品展であることを頭にいれ、1年間の成果を実りあるものにすべく努力されているところです。

さあ、参加される1, 2年生含めた大学生全員はもちろんのこと、大学院生並びに卒業生におかれましてもこのことを肝に銘じて大学祭を盛り上げていただけるようご協力をよろしくお願い申し上げます。

と同時に 大学祭を通じて 「1人1人が思い出に残る体験」 をしましょう。

- ◆日 時：令和6年2月17日(土) 9:30~12:00 準備  
13:00~15:00 展示のみ実施
- 令和6年2月18日(日) 9:30~15:00 演技発表・展示
- ◆場 所：市立まなびの郷みずほ内  
三木市高齢者大学(体育館並びに各研修室等)

第32回大学祭実行委員長 2年2班 尾上 勸

## 大学第18回グラウンドゴルフ大会を盛大に開催

去る11月1日午前9時より秋晴れの下、128名の参加者を得て第18回グラウンドゴルフ大会を盛大に開催することが出来ました。今年は、コロナ禍もほぼ終息したことから、学友会の皆さんにもご参加頂く大会となりました。

大会は、赤コース、黄コースのそれぞれ8ホール全てから選手がスタートするショットガン方式を採用したためスムーズな運営ができるかどうか心配しましたが、参加者の皆様のご協力によって時間どおり順調に大会を進めることができました。各チームは和気あいあいと絶妙なチームワークのもとゲームを楽しまれ、ホールインワンも23名の方が達成されました。

学年別では2年生が団体優勝、個人戦においても同じく2年生の前田邦男さんが第1位となるなど2年生の活躍が目立つ大会となりました。さて来年はどうなるか今から楽しみです。参加者の皆様もこれから来年に向けて楽しく元気に練習に励んで頂ければ幸いです。

最後になりましたが、ご参加頂きました皆様及び大会の準備・運営にご尽力頂きました関係者の皆様に実行委員会を代表して心からお礼を申しあげ、第18回グラウンドゴルフ大会の報告とさせていただきます。

グラウンドゴルフ大会実行委員長      2年 河合 敏郎

### 大会結果概要

学年順位戦（参加者73名）

順位	学 年	平均打数	参加者
1	2年	49.14	28名
2	4年	50.29	14名
3	1年	50.96	24名
4	3年	52.29	7名

個人戦(ベスト10)

順位	所 属	氏 名	合計打数	ホールインワン回数
1	高2	前田 邦男	35	1
2	学友会	向山 芳孝	35	1
3	院1	杉本 一朗	37	2
4	高2	尾形 富士香	38	2
5	院2	小原 武	38	1
6	学友会	前野 日良	38	1
7	学友会	原 学	39	1
8	院1	細見 明夫	39	0
9	高2	荒木 則武	41	1
10	院1	川本 千鶴恵	41	0

参考（所属別成績）

所属	平均打数	参加者
学友会	45.05	19名
院1年	47.61	18名
院2年	49.80	15名
事務局	52.67	3名

高大4年間も郷土史を選択した理由？ 単純に他の講座に興味がなかったからです。

唯、戦時中の三木飛行場土地買収でキリスト教修道女院が土地を守った事(陸軍でも強制執行ができなかった)。大宮神社の秋大祭でのお神輿が泊る『高木お旅所』の場所(別所氏が三木の山城に詰める時以外で日常生活を過ごした屋敷跡)の意味が分かった事。東播用水が江戸末期?から庄屋が主体となり、水源から山と平地の高低差も考え設計立案したと言う『官ではなく民の力』である事にも『目から鱗』でした。さて、一般的に教科書で正史とされる歴史は勝者の記録と考えるのが私の歴史観です。故に統治者に都合の悪い事は殺ぎ落とされるか、歪曲して伝えられ、敗者の歴史は埋もれる。いわんや、庶民の言い伝えは細々と記憶されるか、無視される。だからと言って、歴史を学ぶ必要が無いと言う訳ではなく、一息置いて考えるのは、如何でしょうか?違った世界が見えるかもしれません。

最後に郷土史とは関係有りませんが祝日と地名が行政の都合で年々、変更される傾向に疑問を感じませんか?違った世界が見えるかもしれません。

祝日(ハレの日)は、その日に決められた意味があると考えます。地名は『天地異変』の庶民の言い伝えと思います。

これらも何故と考えるのは、歴史の捉え方の一つでしょうか。

4年1班 神澤 哲也

### 学年通信(4年生)

#### 「31期生卒業旅行記」 ～古都<金沢>の旅を満喫～

高大4年生13名は11月

20・21日「錦秋の古都<金沢>を訪ねる旅」へと出発。三木東ICから金沢へとビンゴゲームで盛り上がりながら北陸道を走り、加賀に到着。昼食は「温かい釜めし」でほっこり。再び高速に乗り、金沢西ICで下車後、別命「忍者寺」妙立寺を拝観。金沢城と地下で繋がり、攻められても逃げることができる、まるで忍者になった気分になり、印象に残りました。すぐ近くにある「ひがし茶屋街」美しい出格子の古い街並みの散策は、外国人観光客の多さに驚きながらも、「お抹茶の接待」でほっと一息。



旅館「金沢犀川温泉峡 滝亭」に17時に到着してこの旅での一番は旅館の食事です。

「目で口で五感で料理」心のこもった料理に皆さん感激。ほろ酔い気分でのカラオケ大会は、とびっきりの笑顔の歌で盛り上がり、距離感が縮まるひと時でした。

2日目は快晴、旅館を9時に出発し金沢市民の台所「大江町市場」で地物お土産を買い、次の観光地「兼六園」へ。観光客の多い中、迷子にならないように散策。池の灯籠付近は紅葉が映り込み、作業が完了した「雪吊り」を見れて満足しました。昼食は新鮮な割烹寿司を堪能でき、心地の良い疲れをいやしてくれました。最後に「玉姫の寺・天徳院」を拝観。立派な山門をくぐり抜け「からくり人形劇」を鑑賞、閑静な寺は金沢の歴史を感じとれ、金沢の旅の締めくくりとなりました。14時半北陸道を一路三木へ、バスは乗務員さんのおかげで三木に無事に到着です。ネイブルツアー様、そして旅行委員の皆さんのおかげで金沢の旅を満喫することができました。

心の交流の深まる旅となり、「学生生活の思い出」に「有難う」の一言です。

4年2班 濱川 初子

妻と娘より「家でゴロゴロしてテレビの守りばかりせんと高齢者大学に入学したら」と言われ、入学願書を提出しました。あっといふ間の約半年、少しは慣れてきたかなあ。教養課程とは別に、専門課程は文化学科の郷土史を学んでいます。その講座の中で9月に宮田逸民先生より市内の灌漑用水についてのお話があり、特に淡河疎水に興味を惹かれました。そこで早速現地に赴くことに。



神戸市北区淡河出張所の裏側に淡河川が流れており、疎水の起点となる水を引き入れる堰がありました。どうやらここが疎水の始まりのようです。

そこから県道北側の山すそを通り、御坂サイホン橋へ。志染の山々を越えはるばる緑が丘町に到着。緑が丘交番の東側には民家と商店街に斜めの歩道が通っており、その下に疎水管が埋まっていることを想像するとワクワクしました。

さらに広野ゴルフ場のコースを抜け、神出町、稲美町の練部屋分水所に至ります。分水所は直径20m位の円筒で、中心に直径2mほどの筒が出ていて、いったん地下に潜った水が噴き出していました。その水が細かく分かれて水路に流れていくのです。

川の無かった稲美台地に、淡河川の水が長い長い道のりを越え農業用水として沢山のため池に蓄えられ、活かされているのだと思うと感慨深いものがありました。そして昔の稲美町の人々は稲作に対して驚くべき熱意があったことに（稲作文化の日本においては当然なのかもしれませんが）感動と敬意を抱きました。

これからも高齢者大学の講座を参考に、残り少ない？人生の糧としたいと思っています。なおクラブはカラオケに入会しています。こちらは頭をリラックスさせて、心おおらかに楽しみたいと思っています。

1年2班 福本 昌敏

## 令和6年度大学生募集

三木市高齢者では、新年度入学生を募集しています。ご近所、お友達、お知り合いの方に大いにPRしていただき、お誘いくださるようお願いいたします。

募集案内及び入学願書は、令和6年1月中旬に、まなびの郷みずほ、教育委員会生涯学習課（市役所5階）、市立公民館、三木南交流センターなど市の施設に配置します。

◇入学資格 三木市内に住所を有する60歳（令和6年4月1日現在）以上の学習意欲のある方で、学生自治会活動に参加し、かつ、地域活動に関心、意欲のある方

※ 三木市高齢者大学の卒業生も再入学できます。



◇募集定員 50名（先着順）

◇学習講座 教養課程及び専門課程（園芸、健康福祉、情報、古典、郷土史）

◇学費等 入学金12,000円、受講料10,000円/年間、自治会費3,500円/年間

◇願書受付 2月29日（木）まで、火～金曜日の9時から16時、郵送も可

◇問い合わせ 高齢者大学事務局（市立まなびの郷みずほ内 ☎88-2550）

◇詳しくは 三木市高齢者大学ホームページ（[koureisyadaigaku.cccp.jp](http://koureisyadaigaku.cccp.jp)）

教務主任 藤原 良一